



学校だより

横浜市立六つ川台小学校

5月号

令和4年4月28日

URL:<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawadai/>
E-mail: ky-e-mutsukawadai@city.yokohama.jp

それぞれの良さ

校長 本間 明

校舎前のポールではこいのぼりが元気よく泳ぎ、児童昇降口では五月人形が子どもたちの登下校を見守っています。

先日、避難訓練を行いました。地震、火災が発生したことを想定し、全校児童が校庭に避難しました。おさない、はしらない、しゃべらない、もどらないの「おはしも」の約束どおり、子どもたちは静かに速やかに避難行動をとり、整列することができました。すばらしかったです。そして実は、このときが令和4年度初めて全校児童が一堂に会した機会でした。

新しく着任した職員を紹介したり、担任を発表したりした始業式のときには、まだ1年生がいませんでした。その後に行われた入学式では1年生以外がいませんでしたから、みんながそろったのはこのときが最初でした。

感染症がひろがるまでは、毎週の朝会などで校庭や体育館に全校児童が集まる機会があったのですが、最近、このように避難訓練のときなどが全員集まる数少ない機会の一つとなりました。朝会もテレビ放送となり、私は毎週金曜の朝、カメラの前から子どもたちに向かって話をしています。聞いている子どもたちの反応がその場で分からないのですが、校舎内を回っていると、ときどき「さっきの話おもしろかった」などと声をかけてくれる子がいるので、はげみになっています。

「1年生をむかえる会」もテレビ放送で行いました。これもかつては全校児童が集まって行っていたのですが、今は各学年代表の子どもたちが放送室に来て言葉を言っています。

テレビ生放送、動画配信による集いが多いのですが、デジタルネイティブと言われるYou Tube世代の今の子どもたちにとっては、こちらの方がなじみのある形式かもしれませんね。

授業参観、懇談会へのご参加、ありがとうございました。授業参観や懇談会をオンラインでリモート開催したという学校の話も聞きます。移動の時間がかからずどこからでも参加できるという利点もありますが、やはり直接顔を見て話をするには画面越しからは分からないニュアンスが伝わる良さがあります。

六つ川台小学校の全校児童は267人で、今年度も南区内の小学校では最も少ない人数です。

その分、お互い顔なじみになりやすく、また、全体で動くときでもすばやく行えるというメリットがあります。

どんな状況であっても、それぞれの良さがあります。それらを見出し、子どもたちのより良い成長に活かしていけるよう、取り組んでまいります。